



# 高知県士会ニュース

No.132 2011・12・20 発行 社団法人 高知県理学療法士会



撮影：田野病院 鉄チャン

## 県士会ニュース No.132

- |                     |    |                     |    |
|---------------------|----|---------------------|----|
| ◇「教育は学生の為ならず」       | 2  | ◇会員リレー紹介            | 14 |
| ◇理事会報告              | 3  | ◇故事来歴「ワイン」と「超音波治療器」 | 15 |
| ◇平成23年度中間監査報告       | 7  | ◇求人広告募集             | 17 |
| ◇第11回全国障害者スポーツ大会帯同記 | 7  | ◇賛助会員               | 19 |
| ◇石巻へ(1)             | 8  | ◇求人広告               | 20 |
| ◇平成23年度続新人紹介        | 10 | ◇編集後記               | 20 |
| ◇板場前会長高知県知事表彰受賞     | 13 |                     |    |

## 「教育は学生の為ならず」

副会長 宮本 謙三

言葉はある意味では生き物で、時代とともにその意味合いや読み方も変遷していきます。そのせいか、「情けは人の為ならず」という諺も学生がよく誤解し、「情けをかける事はその人の為にならないので、情けをかけない方がよい」と解釈していることがよくあります。「人に情けをかけておくことは、いつか巡りめぐって自分にも情けをかけてもらうようになるので、人には情けをかけてやりなさい」が原義です。私はこの言葉を理学療法教育に置き換え、新人研修会などの折に「教育は学生の為ならず」として話をすることがあります。

理学療法教育の臨床実習では、多忙な臨床現場の中で多くのセラピストが後進の育成に携わっています。爆発的に増加する理学療法学生を教育するために、臨床現場が悲鳴を上げている姿は、想像に難くありません。学生のために一生懸命教えているのに、やる気のない学生は臨床実習に来ないでほしい、と思うのも無理のないことでしょう。

教育とはそもそも誰の為に行う営みなのでしょうか。教育には、これが「正しい教育」というものはないように思います。アメリカの哲学者で戦後日本の教育に大きな影響を与えた J・デューイは、教育を次のように定義しています。「子供たちを彼らの属する社会の生活に参加させ、彼らを指導し、発展させることが教育であるとするならば、教育は子供の属する社会生活の性格によって決定されると言っても過言ではない」。すなわち教育とは、その国、その集団、その文化、それぞれに固有の教育が存在し、目的や方法も時代とともに変遷していく多様性のあるものです。イスラム社会には「イスラムの教育」、日本社会には「日本の教育」、各家庭には「我が家の教育」が存在しています。すなわち、教育とは本来、その所属する社会や集団を維持していくうえで、新たにその集団に参加しようとする人々に、その集団の一員として必要な事柄を身につけさせる行為と言えるでしょう。その意味では、教育は新参者の為に行う営みとは言い難く、むしろその社会にとって必要性に迫られて行う、社会の為の営みと解釈すべきなのかもしれません。新参者に教育を施さなければ、その集団の秩序が維持できなくなるからです。理学療法教育は学生の為だけに行うのではなく、理学療法社会の品格と秩序を維持するために、換言すれば我々理学療法士自身の為に行っている行為と、とらえる必要があるのではないのでしょうか。

都合のよい解釈かもしれませんが、そう理解すれば「こんなダメ学生は・・・」という眼差しが、「何とかして一人前に・・・」という我が子に向けた眼差しになるような気がします。まさに「教育は学生の為ならず」・・・、我々に課せられた延々と続く忍耐強い営みです。

## 理 事 会 報 告

### (社)高知県理学療法士会 平成23年度 第3回 理事会 議事録(要約)

日 時：平成23年9月14日(水)

18:45~20:45

場 所：県士会事務室

(レジデンスノナミ 107号室)

出席者：会長；山本

監事；町田・山田

理事；宮本・清岡・大畑・小笠原・

堅田・徳平・國澤

部長；財務(西村)・職能(清藤)・

医療(片山憲)

書記；川田

#### 〈議 題〉

#### 1. 高知福祉機器展 第1回キッズバリアフリー フェスティバルの後援依頼について

山本会長より、資料に基づき説明がなされ、審議の結果、承認された。

#### 2. 脳外傷友の会后援依頼について

山本会長より、資料に基づき説明がなされ、審議の結果、承認された。

#### 3. 平成23・24年度各部員の承認について

山本会長より、資料に基づき説明がなされ、審議の結果、承認された。

#### 4. 平成23年度第8回ヘルシー・ソサエティ賞の候補者の推薦について

堅田表彰審査委員長より、資料に基づき説明がなされ、審議の結果、該当者なしで承認された。

#### 5. 法人移行について

徳平法人移行準備委員長より、資料に基づき説明がなされた。審議の結果、定款案を承認するとともに、移行手続きの助言・指導・一部代行を司法書士の細川氏をお願いすることで承認された。PT協会との関係のあり方については、今後の継続審議事項となった。

#### 6. 法人移行のタイムスケジュールについて

徳平法人移行準備委員長より、資料に基づき説明がなされ、承認された。

なお、県から移行届けの提出期限が10月末までの繰上げの連絡があった旨の説明がなされた。そのため、総会開催と承認方法について、早急に対応していくこととした。

#### 〈報 告〉

#### 1. 平成23年度中間監査に関して

西村財務部長より説明がなされた。

#### 2. 各部8月月間活動報告

資料に基づき、各部8月月間活動報告がされた。

#### 3. 各都道府県理学療法士会への入会金の還付について

日本理学療法士協会からの還付は、平成25年度以降は検討するとのことであり、高知県士会費をどのようにしていくか。また、協会と士会の会費納入方法を分けた方がいいのではないかと意見もあり、今後、議題にして検討していく必要が報告された。

#### 4. 山口氏の後援活動についてのPT協会からの依頼について

山本会長より、資料の説明と範囲を限った協力

をしていくとの報告があった。

#### 5. 各団体から記念式典等の開催案内

各団体から記念式典等の開催案内について、山本会長よりあったことが紹介された。

以上

### (社)高知県理学療法士会 平成23年度 第4回 理事会 議事録(要約)

日 時：平成23年10月12日(水)

18:45~20:10

場 所：県士会事務室

(レジデンスノナミ 107号室)

出席者：会長；山本

監事；町田・山田

理事；宮本・清岡・栗山・大畑・

小笠原・堅田・山崎・國澤

部長；財務(西村)・職能(清藤)・

保健(片山訓)・学術(井上)・

教育(重島)

書記；曾我

#### 〈議 題〉

1. 第10回高知県作業療法学会後援依頼について  
栗山事務局長より、資料に基づき説明がなされ、審議の結果、承認された。

2. 平成24年度春の外国人叙勲候補者の推薦依頼について  
堅田表彰審査委員長より、資料に基づき説明がなされ、審議の結果、該当者なしで承認された。

3. 新法人移行の準備について

山本会長より、新法人移行について説明がなされた。新定款の承認には、現在の定款の規定に基づき、

総会にて全会員の3/4以上の賛成が必要である。また、一部修正箇所がありうることを含めて新定款の内容についての承認が必要であり、これらの承認を得るため、10月23日に臨時総会を開催することが承認された。

4. 平成23年度第2・3回ふくし就職フェアの後援依頼について

栗山事務局長より資料に基づき説明がなされ、審議の結果、承認された。

5. 平成23年度第2回食形態の名称の統一に関する研修会の後援依頼について

栗山事務局長より、資料に基づき説明がなされ、審議の結果、承認された。

6. 高知大学医学部付属病院30周年記念事業新聞広告掲載依頼について

山本会長より、高知大学医学部付属病院30周年記念事業における高知新聞掲載依頼について、審議の結果、承認された。

7. 高知県在宅緩和ケア推進委員会委員の推薦依頼について

山本会長より、資料に基づき説明がなされ、委員候補者推薦について検討がなされ、適任者をあつたうえで、会員から1名を推薦することで承認された。

8. 第46回四国理学療法士会連絡協議会および学会評議委員会への出席について

11/12開催予定の連絡協議会には、都合により、宮本副会長が出席することとした。なお、学会評議委員会審議議題に予定されている「四国理学療法士学会の演題登録手続き、学会抄録等のWEB使用化」については、他3県の意向を勘案したうえでの委員会決定に従うこととした。

## 〈報告〉

## 1. 第4回法人移行準備委員会報告

清藤法人移行準備副委員長より、第4回法人移行準備委員会会議について報告がなされた。

## 2. 各部9月月間活動報告

資料に基づき、各部9月月間活動報告がなされた。

## 3. 全国都道府県理学療法士会会長会議報告

山本会長より、全国都道府県理学療法士会会長会議の報告がなされ、要点は以下のとおりである。

- ・協会は、“闘える組織”をスローガンとして、組織改編を予定している。
- ・現時点では、訪問リハビリテーションの制度化は難航している。
- ・協会は、公益社団法人として承認され、平成24年4月1日付にて登記予定である。

- ・平成23年度新入会員を含め、会員数は76,000名となった。
- ・新人研修履修率46%であり、新人研修含め研修会を見直す予定。
- ・会員証は本年度中に協会より各自の下に発送予定である。
- ・会費引き落としは、楽天カードのみとなり、会員は会員証と楽天カードを保有することとなる。新入会者において、楽天カードの審査に通らないケースが発生しており、この場合振込用紙を使用するの振込みとなるので、協会もしくは士会財務部に一報する。また、予定されている「包括的会員管理システム説明会」には、財務部長・教育部長が出席予定とした。

以上

義手・義足・コルセット・松葉杖・装具一式

(社) 日本義肢協会登録 中四国143号

# 宮本義肢製作所

代表者 宮本 耕造

高知市土居町11-15 TEL &amp; FAX (088) 833-6864 夜間 831-1679

医療器械全般・医療用ガス・病院設備  
リハビリテーション機器・衛生材料

## (有) 高知医療器商会

高知市追手筋1丁目3番9号

電話 (872)代9121・9122  
(823)5030

## 社団法人高知県理学療法士会 平成23年度 臨時総会議事録

1. 日時：平成23年10月23日（日） 10時00分～11時00分
2. 場所：土佐リハビリテーションカレッジ 大講義室
3. 総会次第
  - 1) 開会のことば：栗山裕司事務局長
  - 2) 会長挨拶：山本双一会長
  - 3) 定足数報告：栗山裕司事務局長より、定足数については、10月21日現在の高知県理学療法士会総数1159名中967名（うち委任状提出者929名）の出席があり、定款4章22条に基づき本臨時総会が成立する旨の報告がなされた。
  - 4) 議長選出：吉村 晋士会員を選出
  - 5) 書記任命：柏 智之士会員を任命
  - 6) 議事録署名人任命：末延光成士会員、徳弘 健士会員を任命
  - 7) 議事
 

第1号議案 公益社団法人高知県理学療法士協会定款（案）の承認について

徳平法人移行準備委員長より、公益社団法人高知県理学療法士協会定款（案）について、資料に基づき説明がなされた。現在、本定款（案）及び各種規程は高知県庁法務課に仮申請中であり、同庁法務課の指導後には若干の修正がなされる可能性があること、よって主意に影響を与えない程度での文言や表現の修正を求められることが予想されるため、今後提出した案の軽微な修正の可能性を含め承認いただくことを踏まえたうえで審議された。本定款案の文言趣旨について質問があり、説明がなされた。

審議の後、出席者38名と委任状提出者929名を合わせた計967名の賛成が得られ、定款第33条（定款の変更）に基づき、10月21日現在の正会員総数1159名の4分の3以上の賛成をもって、本議案は承認された。
  - 8) その他議事・報告・確認事項  
特になし
  - 9) 議長退場
  - 10) 閉会のことば：栗山裕司事務局長

平成23年10月23日  
社団法人高知県理学療法士会

議長

吉村 晋



書記

柏 智之



議事録署名人

末延光成



徳弘 健



## 平成23年度 中間監査報告 会計・事業監査報告

平成23年度社団法人高知県理学療法士会中間収支報告書にもとづき平成23年10月23日に上半期中間監査を実施致しました。帳簿並びに証拠書類は正確且つ適正に処理されていることを認めます。

平成23年10月23日

監事 町田 英人



監事 山田 義久



### 監事考察

- 1) 士会執行部は、定款改正後に速やかに遅滞することなく公益法人の申請を行うこと。
- 2) 士会各部は引き続き下半期においても、年度事業を実施し、本年度の事業を完結すること。
- 3) 士会各部は士会執行部に各部の事業活動報告・財務報告を適時行うこと。
- 4) 未納会費の徴収に努めること。

平成23年度中間監事考察とし、上記項目について指摘します。

以上



## 第11回全国障害者スポーツ大会帯同記

前田病院 鮫島 啓記

高知出発から大会1日目までの期間(10月20~22日 山口県)、高知選手団のトレーナーとして帯同させて頂きました。

今大会では、主に陸上競技と卓球の会場を中心とし活動しました。毎年の事ではありますが、各競技会場が開催県の様々な場所に点在する為全ての競技のサポートを行えないのが現状です。各競技会場の監督と連絡を取りながら、トレーナー要請があると会場に向かう体制で取り組んでいます。帯同中は怪我などでの要請がかからないかを気にしながら、拠点地の会場で選手のサポートを行いました。

大会前日の公式練習においては、会場まで出向いたものの激しい雨でやむなく練習中止。宿舎でストレッチ指導などを行い、大会本番に備えて選手の情報収集に徹しました。

大会初日は午前中に開会式が行われ、午後より競技開始。公式練習が十分に行えない不安を抱えて本番に突入。時折小雨の降る中での競技となった為、コンディショニングには細心の注意を払いました。選手はコンディションを崩すことなく競技に取り組めていました。選手の全力でプレイする姿には毎回感動し、トレーナーとして更なる向上を志す機会を与えてもらえます。

私は前半の日程を終え、木俣病院の久保順先生が引き継ぎサポートして頂きました。後半日程は天候も良く怪我などのトラブルも無く、無事に大会を終了する事ができました。やはり何事も無く大会終了出来る事は一番安心しますが、選手の更なるサポートの強化も必要に感じます。

今大会では競技監督として理学療法士が3名(フライングディスク、車椅子バスケットボール)帯同しておりました。トレーナーと監督では役割が違いますが、このように県士会の理学療法士が障害者との関わりを深めていく機会が増えてきた事を嬉しく思います。これからも理学療法士がこのような舞台をしっかりとサポートし、盛り上げていけるよう1人でも多く関わっていければと思っております。

最後にこのような機会を与えてくださった高知県、高知県理学療法士会、選手の皆様、役員の皆様に心より感謝の意を申し上げます。

## 石巻へ(1)

いずみの病院 徳平 憲治

10月8日から11月25日まで、職場の有志で石巻へボランティア活動に行くこととなった。参加のきっかけ～活動内容、現地の状況や感じたことをシリーズでお伝えしたい。

### きっかけ

職場労働組合からの提案で、3日ある今年の夏休みのうち1日をボランティア活動に当てようとの声上がり、170日の休みが集まった。ボランティア参加希望者を募り看護師9名、PT6名、OT1名、ヘルパー2名、事務職2名と計20名の希望者が集まった。こうした行動に対して、理事長からは「がんばってこい、旅費は私が持つ」と活動を支援いただき、労使協力し合っの活動体制が出来上がった。

### ボランティア登録

早速、職種ごとに勤務調整を行い、10月8日～11月25日までの期間で6班に分かれてのスケジュールを立てた上で、現地で活動している団体へのボランティア登録先を探すこととなった。看護師の中に岩手県出身者がおり、犠牲になった友人や被災している知人や親類もいるとのこと、災害弱者である高齢者が多いことから、陸前高田市の社会福祉協議会へ連絡を取ることとなった。参加人数やスケジュールを伝えたが「必要があればこちらから連絡をする。」と言った返事の後、1週間待っても連絡はこなかった(行政も忙しいのであろう)。療法士のチームはPT協会への登録を問い合わせもしたが、現地滞在が1週間以上必要で、高知からでは前後で2日の移動日を入れると9日間の休暇を取るとは365日リハビリテーション体制を取っている当院では不可能であった。

登録団体を探しあぐねていた時、現地で活動経験のある、あおぞら診療所の和田先生の報告会でキャンナスの存在を知り早速連絡を取った。キャンナスは震災後に早期から現地での活動を展開しており、代表の息子さんである菅原健介氏はPTということもあって滞在5日の短期参加であったが、快く引き受けてくれた。

### キャンナスの活動

気仙沼と石巻に拠点を置き被災者の支援活動を行っているボランティア団体で、震災後初期には避難所に常駐し被災者の健康管理はもちろん、物資の調達や配給などの活動を行っていることは聞いていた。ボランティア登録後は、メーリングリストによって活動報告やボランティア参加者の意見・感想が毎日送られてくるため、避難所となっている石巻公民館での活動や仮設住宅でのコミュニティー作りや長期化する被災者への個別訪問、心のケアなどの活動内容を大まかに確認することが出来た。また、スタッフも看護師・保健師だけでなく、PT、OT、栄養士、臨床心理士、教師、大工など様々な職種が集まっていることもわかった。



## 仙台空港

搭乗機は、11時頃に仙台空港へ着陸態勢に入った。高知空港に似ており、海岸線に対して直角に伸びる滑走路に海側から入って行く、眼下には滑走路に向かって一列に倒れた松の木が並び周辺の畑?には、投げつけられたように散乱した車が何台か見えた。空港内は震災の傷跡も感じないほどに復旧していたが、空港より海側では多くの重機が稼働していた。

空港連絡線で仙台駅へ、そこから仙石線で石巻へと向かったが、松島から矢本までの区間はまだ復旧しておらずバスでの連絡となっていた。松島は海岸線にありながら津波被害は無く、3連休の前とあってか、観光客の姿も多く見られ別の世界のようにも見えた。

しかし、連絡バスが矢本に進むにつれ景色は一変してくる。津波でほとんどの家が流された町、寸断された高架線を見ながら石巻へと着いた。

つづく



仙台空港展望台から見た海側



松島駅から矢本駅までの連絡バスの車中から

# 平成23年度 続 新人 紹介

①名前 ②所属 ③出身校 ④趣味 ⑤今後の意気込みを一言



後列：左から石村、森下、佐藤  
前列：左から小松、森岡

## ①石村 晃平

- ②愛宕病院リハビリテーション科
- ③高知医療学院
- ④バスケットボール
- ⑤医療従事者としての自覚を持ち、日々精進します。

## ①小松 典子

- ②愛宕病院リハビリテーション科
- ③高知医療学院
- ④カフェ巡り、トレッキング
- ⑤社会的にも臨床的にも色々と思考できるセラピストを目指したいです。

## ①佐藤 大雅

- ②愛宕病院リハビリテーション科
- ③高知医療学院
- ④野球、読書
- ⑤片麻痺を治せるセラピストになる！

## ①森岡 祐子

- ②愛宕病院リハビリテーション科
- ③高知医療学院
- ④食べ歩き
- ⑤物事に対し複数の視点から考えることができるセラピストを目指します。

## ①森下 敦史

- ②愛宕病院リハビリテーション科
- ③高知医療学院
- ④フットサル
- ⑤様々な視点から物事を考えることができるPTを目指します。



## ①河野 和

- ②田中整形外科病院
- ③土佐リハビリテーションカレッジ
- ④ソフトボール
- ⑤患者さんを思いやれるPTになれるよう頑張ります。



## ①西村 裕子

- ②田中整形外科病院
- ③高知リハビリテーション学院
- ④読書
- ⑤大変でも悩んでも笑顔で乗りきります！



## ①森本 志保

- ②田野病院
- ③高知医療学院
- ④旅行・食べ呑み会
- ⑤疑問を持つことを忘れずに学んだことを、臨床に活かしていきたいです。



## ①小松 ゆい

- ②田野病院
- ③高知医療学院
- ④食事
- ⑤多様な視点から物事をとらえられるように努力していきたいです。



- ①有澤 洸紀
- ②近森オルソリハビリテーション病院
- ③高知医療学院
- ④野球
- ⑤信頼関係を大切にしていきます

- ①大山 伸哉
- ②近森リハビリテーション病院
- ③宮崎医療福祉専門学校
- ④ドライブ
- ⑤今自分にできることを出し切って、少しでも患者様の支えになれるように頑張ります。



- ①宮崎 亜樹
- ②近森オルソリハビリテーション病院
- ③高知リハビリテーション学院
- ④バスケットボール
- ⑤笑顔を忘れず、周りを笑顔にできるようなPTになる!

- ①三谷 征也
- ②近森リハビリテーション院
- ③帝京大学福岡医療技術学部
- ④フットサル・映画鑑賞
- ⑤患者さんの障害に寄り添える理学療法士になりたいと思います。



- ①森本 和加
- ②近森オルソリハビリテーション病院
- ③神戸学院大学
- ④映画鑑賞
- ⑤笑顔を支えられるように頑張ります。

- ①浜田 裕一
- ②近森リハビリテーション病院
- ③高知リハビリテーション学院
- ④バイク
- ⑤何事にも全力を尽くす



左上から松原・大山・笹岡  
左下から浜田・井上・三谷

- ①笹岡 みずえ
- ②近森リハビリテーション病院
- ③高知医療学院
- ④ネットショッピング
- ⑤時間を無駄にせず、仕事もプライベートもベストを尽くしていきたいです。



左から筒井・今井・徳重・山村

- ①井上 佳苗
- ②近森リハビリテーション病院
- ③土佐リハビリテーションカレッジ
- ④映画鑑賞・テニス
- ⑤向上心を持って一所懸命頑張ります。

①松原 嘉裕

- ②近森リハビリテーション病院
- ③高知リハビリテーション学院
- ④ふらっと出かける
- ⑤患者さんに笑顔になってもらえるPTになりたい。



①岡村 みちる

- ②南国中央病院
- ③大阪医専
- ④映画鑑賞
- ⑤元気いっぱい笑顔で頑張ります。

①徳重 和也

- ②近森リハビリテーション病院
- ③YMCA米子医療福祉専門学校
- ④スノーボード・スキー
- ⑤一生懸命頑張ります。



①松崎 類

- ②南国中央病院
- ③高知医療学院
- ④硬式テニス
- ⑤患者様と一緒にがんばっていきます。

①山村 猛瑠

- ②近森リハビリテーション病院
- ③高知医療学院
- ④サッカー
- ⑤患者さんだけでなく、ご家族の方やスタッフとのコミュニケーションを大事にしていきたいです。



①窪内 風香

- ②南国中央病院
- ③高知リハビリテーション学院
- ④お昼寝
- ⑤一生懸命頑張ります。

①筒井 俊宏

- ②近森リハビリテーション病院
- ③高知医療学院
- ④バスケット
- ⑤「知りたい」という気持ちを忘れずに勉強を楽しんで続けていきたいです。



左から鎌倉 小野川 松田

①今井 ゆい

- ②近森リハビリテーション病院
- ③高知リハビリテーション学院
- ④カフェめぐり
- ⑤一生懸命がんばります。

①小野川ちひろ

- ②細木病院
- ③土佐リハビリテーションカレッジ
- ④映画鑑賞
- ⑤初心を忘れずがんばります！

## ① 鎌倉 宏行

- ②細木病院
- ③吉備国際大学
- ④一人でバッティングセンターへ行くこと。おもしろいDVDを観ること。メジャーの試合を観戦すること
- ⑤仕事も遊びも勉強もいろんなことをやっていきたいです。海外にも行きたいなあ。



## ① 齊藤 美徳

- ②医療法人 金峰会 山崎病院  
リハビリテーション部
- ③琉球リハビリテーション学院
- ④自転車
- ⑤日々成長

## ① 松田 恭兵

- ②細木病院
- ③高知リハビリテーション学院
- ④ソフトテニス・バドミントン
- ⑤来年の冬は汗をかかずに仕事ができるようにがんばります。



## ① 福原 千帆海

- ②介護老人保健施設 夢の里
- ③土佐リハビリテーションガレッジ
- ④ドライブ
- ⑤笑顔で1つ1つ丁寧に、日々頑張ります。

## おめでとうございます

### 板場 英行 前会長 高知県功労者知事表彰を受賞

このたび、平成23年11月3日の文化の日に、板場英行高知県理学療法士会前会長が栄えある高知県知事表彰を受賞されました。

この表彰は地方自治の発展その他公共の福祉に関し、特に功績の顕著な人に対して知事から送られる賞で、今年は13人と1団体が表彰されました。

板場前会長は、昭和56年に高知県理学療法士会の理事になられ、その後、副会長そして会長と長期にわたり役員をつとめられました。その功績は、県士会を公益法人として県民の医療・保健に社会貢献できるよう、役員として会員の学術的資質の向上につとめ、技術レベルの向上を図り、県民の医療・保健・福祉の発展に寄与されております。また、理学療法士としても、理学療法士養成教育に携わり、多くのセラピストを輩出し、高知県の医療・保健・福祉に貢献されました。これらの功績が高く評価され、今回の受賞となりました。

この表彰は、板場前会長におかれましても名誉ある賞と同時に我々高知県理学療法士会としても、そして、各々の会員にとりましても大変慶ばしいことでもあります。この栄誉を励みとして、県士会がさらに発展し

県民への貢献へと結びつくように皆々で邁進して行きましょう。

板場先生、受賞おめでとうございます。これからもご健康に留意され、ご活躍と後進へのご指導をよろしくお願い致します。

(表彰審査委員会 委員長 堅田 裕次)



# 会員紹介

医療法人 公世会 野市中央病院 西田 哲也



学校の偉大なる先輩伊井さんから紹介を承りました、西田哲也です。

僕は、今年の春にあった国家試験をなんとか突破し、野市中央病院で勤務させて頂いております。就職してから早くも半年が経ちましたが、未だにいろんなことに緊張し、汗をかいています。ですが、この半年間で経験したことは実習で経験したこととは違うものだと感じています。正直、就職してからの悩みや苦悩は大きかったです、色々な方々に支えて頂きながら喜びや楽しさを患者様と共に感じています。

この文章を書いているふと思いましたが、リレー紹介をさせていただいていますが、まだ僕は新人紹介をしていません。順番が前後してしまい申し訳ありません。今後の意気込みとしては、患者様と一緒に歩いていくことと、僕の尊敬するバイザーが言っていた「仕事も遊びも全力で!!」(僕なりの解釈です)を目標に頑張っていきたいと思います。

次回の会員は僕の同級生である、海里EASTマリンクリニックの内川誠君に襷をつなげたいと思います。



厚生年金高知リハビリテーション病院 大山 幸綱



谷脇さんから紹介を承りました厚生年金高知リハビリテーション病院のシルベスタ・スタローンこと、大山です(笑)。高校時代はランボー、高知リハビリテーション学院時代にはロッキーとの愛称で先輩方に可愛がっていただきました。

さて、今年で臨床経験5年目となった私ですが、振り返ってみるとあっという間の5年だったなというような印象です。学生時代には患者さんと会話することすら十分にできなかった私ですが、この5年間の中で数多くの患者さんを担当させていただき、以前よりは少し成長した部分もあるのかなと思います。プライベートでは、今年の3月に入籍しました。楽しいことばかりではないですが、新しい家族が増え充実した毎日を送っています。まだまだ未熟な私ですが、職場では患者さんと、家庭では嫁さんと正面から向き合い、ニーズに応えられるようなサービスを提供できるように努めていきたいと思います。

さて今回は、近森病院の横畠和宏君にバトンを渡したいと思います。よろしくお願いします。

## YAESU

水圧式車椅子入浴装置製造販売  
病院 福祉施設用設備機器販売  
業務用洗濯機・乾燥機販売  
各種業務用洗剤販売  
福祉用具貸与・レンタル卸

## 株式会社 ヤエス

代表取締役 藤井 憲雄

香川県高松市国分寺町福家甲1652-1  
TEL 087-874-5839(代) FAX 087-874-5122  
URL <http://www.yaesu.org>

## 故 事 来 歴

### 甲府のワイナリーで知った「ワイン」と「超音波治療器」の意外なつながり

先日、甲府のワイナリーに見学に行ったついでにPT協会全国研修大会に参加を、ではなく全研に行ったのを機にワイナリーを見学してきたのだ。ワイナリーの中にあるレストランでプチ・リッチなランチを洒落込もうと行ったのだが、その後に売店の場での成り行きから(話せば長くなるので割愛して)ワイナリー内の見聞と相成った。案内人(たぶんオーナー)が説明してくれたが、小生はランチ・オーダーストップ時間ギリギリに走り込んで(走ったのはタクシーであるが)直ぐのワインが効いてうろ覚え、清岡副会長は同級生の研修会長挨拶を聞いて舞い上がったままだし、栗山事務局長はランチ代が予算外で帰ってからの奥さんへの言い訳を考えるのに必死で見学は上の空。こんな状態だったから高知に帰ってきて調べ直してしまっただが、超音波治療器の開発にも他の種々の機器と同様に第二次世界大戦中の技術研究が基盤にあって、当時に甲州の「ワイン」が大いに関係していたことをこの見学で知ったのだ。

甲州ワインは甲府が発祥で、歴史は古く明治初期に始まったが、当時のことで経営的には難儀を極めた。転機が訪れたのは、第2次世界大戦。開戦の少し前から、通信機が急速に発展してきた。そしてこれに使うマイクやレシーバー、当時はこれにロッシェル塩(酒石酸カリウムナトリウム)を使うと優れた性能を発揮することがわかっていたのだ。これが、クリスタルマイクやクリスタルイヤホン。さらに、隠密にドイツから帰還したイ号潜水艦に積まれていた多くの機器の設計図の中の1枚に、潜水艦を察知するための捕音機(水中マイク)のものがあり、クリスタルマイクの研究に拍車がかかった。そこで海軍はロッシェル塩を軍需物資に指定し、生産を急がせた。このロッシェル塩(ロッシェルはフランスの港町)実はワインの中にできる沈殿物の結晶(クリスタル)なのだ。このため、甲府の『サドヤ』に20数トン(22だったか23だったか、ここが3人共、正確に覚えていないところ)のロッシェル塩の注文が出され、一気にブドウ栽培が拡大され、ワイナリーも息を吹き返したのだ。ただその後は、海軍本部はご多分に漏れず一枚岩でなく捕音機や水中探信儀(ソナー)および電波探信儀(レーダー)には懐疑的で開発は進まず、実戦に投入されたのは終戦直前であり、しかも方針転換して湿気に弱いクリスタルマイクでなくダイナミックマイクになってしまっていた。一方、アメリカのすごいところはシステム化と素人でも操作できる機器をつくり、大戦後半には実戦活用できていたところにある。もっともアメリカは日本の技術を買っていらしいところもあり、笑える話ではあるが、アメリカ爆撃機が甲府のブドウ畑のつり楸(針金)をアンテナ群と間違えて空爆したというから、当時の世界の電信技術はそんなものだったのだ。なおロッシェル塩は、塩水から真水を作るための脱塩剤にもなり、その後の戦中には陸軍から南方での戦地で使用するための注文もあったようだ。

さて、ロッシェル塩がマイクに使えた理由は、ピエゾ(圧電)素子だからなのだ。圧力を加えると電気(ピエゾ電気)が発生し逆に電気を流すと振動する性質のある物質をピエゾ素子といい、水晶(クォーツ)や電気石(トルマリン)が有名であるが、ロッシェル塩もこの仲間なのだ。空気の振動を電流に変えることで音が電気信号となるので、マイクに利用できる。レシーバー(イヤホン)はこの逆の働き方。ピエゾ電気の原理を発見したのは、ピエール・キュリー(マリー・キュリーの夫)である。この原理、現在ではロッシェル塩は使われずマイクやレシーバーも特殊なもの以外はこの方式ではないが、我々の生活の中でいまは様々なとこ

るで利用されている。力を電流に変える代表的なものは、カセットガスコンロである。つまみを回すと、ハンマーでピエゾ素子を叩きつけて電流を発生させ、その電気スパークでガスに火が点く。電圧をかけて機械的振動を取り出し利用する代表は電子時計である。このとき、いかなる条件下でも振動数(周波数)は変化しないので、利用できるのだ。なお、時計のピエゾ素子は水晶を使うのでクォーツ(時計)とも呼ばれる訳である。またインクジェット・プリンターも、エプソンのものはこの原理を利用して、電流を圧力に変えてインクを押し出すのだ。なおキャノンのインクジェットは、キャノン発明のインクを熱で発泡させる方式で、別物である。そして超音波を発生させるのもピエゾ素子である。いまは、超音波発生部にピエゾ素子としてセラミック(チタン酸バリウムなど)を使っていると思われるが、第2次世界大戦中には音波発生装置にロッシェル塩を使ったソナー(水中探信儀)の開発も行われていて、当時の技術があったからこそ日本の機器もいち早くつくれたのだ。ソナーの技術を応用した魚群探知機も超音波(エコー)診断器も日本人の発明であり、超音波治療器も日本では1950年頃から研究と開発がスタートして1952年に早くも鎮痛の治療効果が発表(臨床外科：岡益尚)されている。

ということで今回の研修出張、「風が吹けば桶屋が儲かる」式に『ワインがあったから超音波治療ができる』ことがわかり、研修会場内での専門知識以上に社会勉強ができて、旅費以上の収穫であった。

(山本双一)



## 世界の技術を日本のリハビリテーションへ



アメリカ義肢装具協会 (ABC) 公認



日本義肢協会 登録番号 中四国130



株式会社 **かなへ義肢製作所**

本 社 徳島市昭和町3丁目9  
TEL 088-652-5719

支 社 高知市東城山町一楽  
TEL 088-831-8832



(社)高知県理学療法士会

会 長 山本 双一  
広報部部長 池上 司

## 求人広告募集

拝啓、皆様方にはますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

また、平素は本土会の活動のために何かとご尽力を賜り心より御礼を申し上げます。

さて、本土会にて発行しております機関紙（高知県士会ニュース）の求人広告を随時募集いたしております。ご希望の方は要項をお読みになり、お手数ですが、次ページの用紙に記入の上、お申し込みくださいますよう、よろしく願いいたします。

敬 具

### 募集要項

- |            |  |
|------------|--|
| 1. 発行紙ページ数 | A 4 版15から20ページ   |
| 2. 発行部数    | 年 4 回発行 1 回約1,400部   |
| 3. 発行対象    | 高知県内理学療法士及び勤務病院<br>県内外関連団体   |
| 4. 広告掲載期間  | 一回のみ掲載   |
| 5. 掲載広告料   | 1 / 4 ページ 10,000円  |
| 6. 掲載原稿    | 版下・印刷物<br>手書き原稿・データ（ワードなど）のいずれか  |
| 7. 申し込み先   | 〒783-0004<br>南国市大桶甲1479-3<br>南国病院<br>(社)高知県理学療法士会広報部 池上 司 宛<br>TEL : 088 (864) 3137 FAX : 088 (863) 3070<br>e-mail : moai321@mf.pikara.ne.jp |
| 8. 広告料送金方法 | 1) 銀行振込<br>四国銀行 上町支店<br>口座番号 (普通) 0752090<br>口座名 社団法人高知県理学療法士会<br>代表者 山本 双一<br>2) 現金書留<br>高知市上町3-2-6<br>田中整形外科病院PT室内<br>西村 敦司                |

○ お申し込みは随時募集いたしておりますが、ニュース発行の時期と重なりますと、次号に持ち越されるなど、掲載が遅れる場合があります。何卒ご了承くださいますようお願いいたします。

## 高知県理学療法士会 求人広告 申込書

・ 貴施設名

・ 住所 (TEL)

・ 送金方法            銀行振込            現金書留

いずれかに○をつけて下さい。

・ 送金月日

掲載例

### 理学療法士募集

募集人員：若干名

受付期間：平成○年○月○日まで

待 遇：当院給与規定により優遇（経験加算あり）  
賞与年2回 各種社会保険、退職金制度有り

休 日：4週6体制 有給休暇あり

応募方法：電話連絡または履歴書郵送  
医療法人○○会○○病院

〒780-0000 高知市○○町○○  
088-○○○-○○○○

原稿は下記の枠内に収まるようお願い申し上げます。

# 賛助会員の皆様

平成23年度 士会賛助会員名簿

(H23年5月末現在)

会 員 名	住 所	診療科目等
(医) 新松田会 愛 宕 病 院	〒780-0051 高知市愛宕町1-4-13 TEL 088-823-3301 FAX 088-871-0531	内科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、心療内科・精神科、麻酔科、婦人科
(医) 防治会 い ず み の 病 院	〒781-0011 高知市薊野北町2-10-53 TEL 088-826-5511 FAX 088-826-5510	内科、神経内科、放射線科、循環器科、脳神経外科、外科、整形外科、泌尿器科、リハビリテーション科、麻酔科
(医) 川村会 く ぼ か わ 病 院	〒786-0002 高岡郡四万十町見付902-1 TEL 0880-22-1111 FAX 0880-22-1166	内科、外科、整形外科、リハビリテーション科、産婦人科、脳神経外科、麻酔科、眼科、皮膚科
(医) 新松田会 高 知 医 療 学 院	〒781-0270 高知市長浜6012-10 TEL 088-842-0412 FAX 088-841-1783	理学療法学科
(学) 高知学園 高知リハビリテーション学院	〒781-1102 土佐市高岡町乙1139-3 TEL 088-850-2311 FAX 088-850-2323	理学療法学科・作業療法学科・言語療法学科
厚生年金 高知リハビリテーション病院	〒780-8040 高知市神田317-12 TEL 088-843-1501 FAX 088-840-1096	内科、外科、整形外科、泌尿器科、麻酔科、リハビリテーション科、健康管理センター、居宅介護支援センター
(医) 白菊会 白 菊 園 病 院	〒781-1154 土佐市新居萩の里1 TEL 088-856-1101 FAX 088-856-3364	内科、外科、整形外科、リハビリテーション科、脳神経外科
(医) 臼井会 田 野 病 院	〒781-6410 安芸郡田野町1414-1 TEL 0887-38-7111 FAX 0887-38-5568	外科、脳神経外科、内科、小児科、眼科、耳鼻咽喉科、肛門科、整形外科、循環器科、リハビリテーション科、放射線科
社会医療法人 近 森 会	〒780-0052 高知市大川筋1-1-16 TEL 088-822-5231 FAX 088-872-3059	近森病院（地域医療支援病院） 近森リハビリテーション病院（回復期リハビリテーション） 近森オルソリハビリテーション病院 総合心療センター近森
(学) 土佐リハ学院 土佐リハビリテーション カレッジ	〒781-5103 高知市大津乙2500-2 TEL 088-866-6119 FAX 088-866-6120	理学療法学科、作業療法学科
(医) 地塩会 南 国 中 央 病 院	〒783-0011 南国市後免町3丁目1-27 TEL 088-864-0001 FAX 088-864-0332	内科、胃腸科、呼吸器科、循環器科、外科、整形外科、脳神経外科、リハビリテーション科
(医) 仁生会 細 木 病 院	〒780-8535 高知市大膳町37 TEL 088-822-7211 FAX 088-825-0909	内科、外科、整形外科、耳鼻咽喉科、放射線科、小児科、泌尿器科、脳神経外科、リハビリテーション科、健康管理センター
(医) もりもと会 もりもと整形外科・内科	〒780-8073 高知市朝倉本町2-12-6 TEL 088-843-5342 FAX 088-843-5376	整形外科、リハビリテーション科、内科

## 求人広告

## 理学療法士・作業療法士募集

- 募集人員：若干名（平成24年4月頃採用予定）
- 仕事：訪問看護ステーションからのチームでの訪問リハビリ
- 勤務先：訪問看護ステーションドリームチーム（南国市大堀甲1253-1）
- 待遇：基本給257,000円～284,000円、賞与年2回、通勤手当他・各種社会保険等有り
- 休日：週休2日（勤務表で調整）
- 応募方法：まずはお気軽に電話かメールにてご連絡下さい。

TEL：088-803-7877 E-mail：kirakm@agate.plala.or.jp 担当：吉良

これからは在宅が熱い！急性期も回復期も生活期も終末期もある訪問リハで、あなたの職人力を磨いてみませんか。平成24年3月にはカフェ風自立支援型デイサービス「こじゃリハのいち」を野市町に開設予定。訪問看護・訪問リハ・自立支援型デイサービスを連携させて、在宅での先進的な地域リハビリシステムを一緒に創りませんか？社内研修があるので訪問未経験者でも安心。パート勤務も募集中。

## 編 集 後 記

この号が皆さんの手元に渡る頃は、年が明けそうか新年を迎えている頃かと思います。10月には公益法人化に向け新定款案が承認され、公益法人申請が目前に迫ってきました。また年度末には、診療報酬・介護報酬の同時改正が控えております。確定していない情報に振り回されないようしっかりとアンテナを張って、腰を据えて対応したいと思います。

広報部では、会員の皆さんからの寄稿や表紙画像を募集しております。こんな本がおすすめとかここのお店が美味しかったなどなどドシドシお寄せください。

( T . I )

高知県士会ニュース No.132 平成23年12月20日発行

発行所 社団法人 高知県理学療法士会

(連絡先) 〒781-1102 土佐市高岡町乙1139-3

高知リハビリテーション学院 理学療法学科内

TEL & FAX (088) 850-2335

<http://www.kopta.net/index.htm> e-mail:jimukyoku@kopta.net

発行者 山本 双一

広報部編集委員会